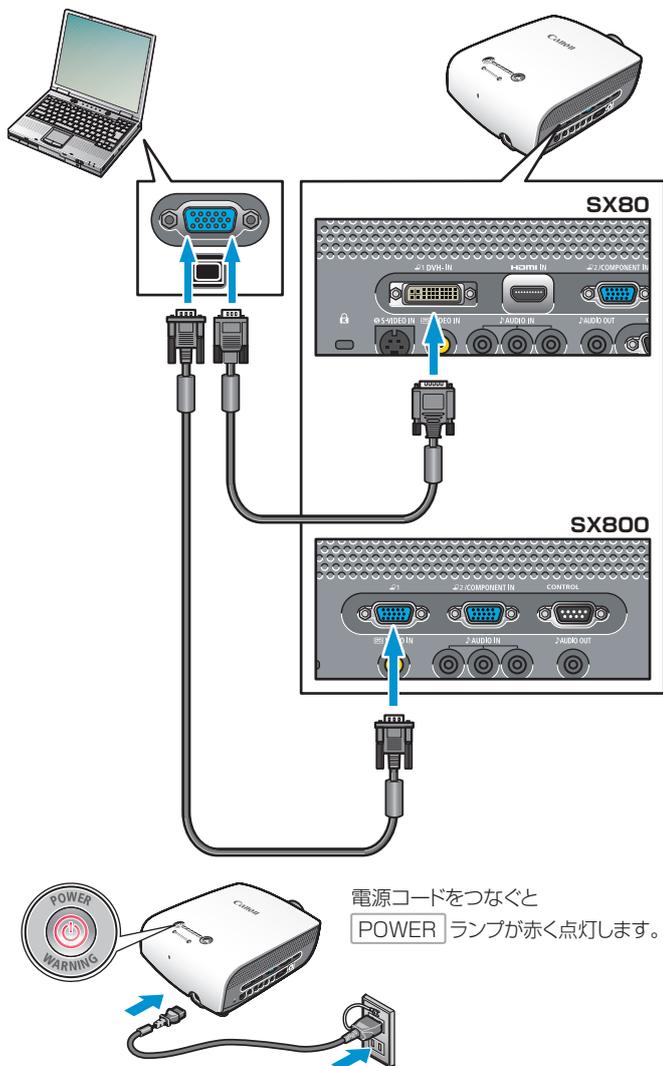


POWER PROJECTOR SX80 SX800 クイックスタートガイド

このガイドはパワープロジェクターSX80/SX800でノート型コンピューターの画像を投写する基本的な手順を説明しています。プロジェクターは水平なテーブルの上に置いてください。**P****は使用説明書の参照ページです。裏面もあわせてお読みください。

1 付属のコンピューター接続ケーブルと電源コードをつなぎます。 P34(SX80)、P35(SX800)、P45



2 レンズキャップを外してPOWERボタンを押します。 P45 緑の点滅から緑の点灯に変わります。



3 コンピューターの電源を入れ、映像信号の出力先をプロジェクターに切り換えます。 P47 コンピューターメーカーによりファンクションキーの割り当てボタンが異なります。

4 カウントダウン画面の終了後にAUTO SET ボタンを押します。 入力信号の設定、ピント合わせ(SX80)、台形ひずみの補正が自動で行われます。 P48

- ・ SX800は、FOCUS ボタンを押し、 \uparrow \downarrow \leftarrow \rightarrow ボタンでピントを手動で調整します。 P55



- \uparrow \downarrow ボタン: おおまかに調整します。
- \leftarrow \rightarrow ボタン: 微調整します。

- ・ 言語を選ぶ画面が表示されたときは、言語を選んでください。 P46
- ・ 画面が投写されないときは、INPUT ボタンで入力信号 [アナログPC-1] を選んでください。 P50、P51

5 AUTO PC ボタンを押します。

- ・ プロジェクターが最適な状態に調整されます。 P53
- ・ コンピューターの表示解像度を最適に設定することをおすすめします。 P52

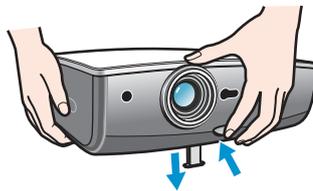
6 画面のサイズと位置を調整します。

- ZOOM ボタンを押し、 \uparrow \downarrow \leftarrow \rightarrow ボタンで画面のサイズを調整します。 P54



- \uparrow \downarrow ボタン: おおまかに調整します。
- \leftarrow \rightarrow ボタン: 微調整します。

- 調整脚で画面の高さを調整します。 P33



7 もう一度AUTO SET ボタンを押します。

- ・ 画面サイズと位置を調整した後のピント合わせ(SX80)と台形ひずみ補正を行います。
- ・ ピントと台形ひずみの微調整は手動で行います。 P55、56

これで投写までの作業は完了です

リモコンについては、裏面をご覧ください。

前ページの作業で操作するボタン

パワー
POWER ボタン P45、P64
電源を入/切します。

インプット
INPUT ボタン P51
投写する入力信号を選びます。
INPUT ボタンを押すたびに、入力信号が切り換わります。

フォーカス
FOCUS ボタン P55
ピントを調整します。
▲ ▼ ボタン: おおまかに調整します。
◀ ▶ ボタン: 微調整します。

プレゼンテーションで使える 便利な機能 P66～69

デジタルズーム
D.ZOOM ボタン P68
映像の一部を拡大して表示します。

フリーズ
FREEZE ボタン P66
映像を静止画にします。



オートセット
AUTO SET ボタン P49
入力信号の設定・台形ひずみの補正(SX80、SX800)、ピント合わせ・スクリーン色補正(SX80)を自動で行います。

オートピーシー
AUTO PC ボタン P53
プロジェクターを最適な状態に調整します。

ズーム
ZOOM ボタン P54
画面サイズを調整します。
▲ ▼ ボタン: おおまかに調整します。
◀ ▶ ボタン: 微調整します。

ボリューム
VOL ボタン P67
音量を調整します。

ミュート
MUTE ボタン P67
音声を一時的に消します。

ブランク
BLANK ボタン P66
映像を一時的に消します。

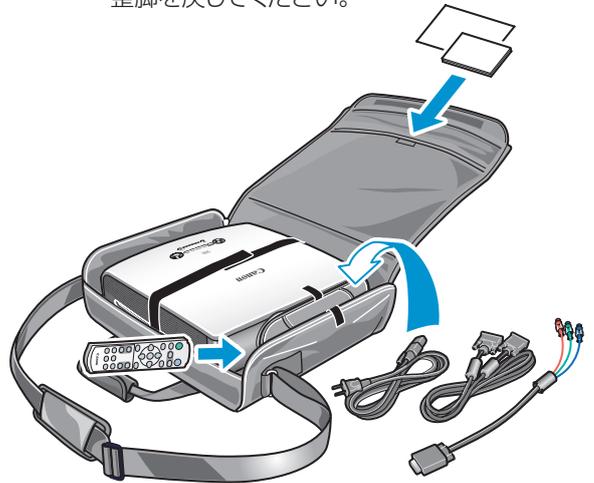
ピータイマー
P-TIMER ボタン P69
経過時間を表示します。

プロジェクターをかたづける P64

1 **POWER** ボタンを押します。
ガイドメッセージが表示されます。
もう一度 **POWER** ボタンを押します。
「緑」の点灯が「赤」の点滅に変わります。

2 電源コードおよびコンピューター接続ケーブルを抜きます。

3 冷却ファンが止まったら、キャリーバックに収納します。
・ 冷却ファンが止まるまでは収納しないでください。
・ レンズを保護するため、レンズキャップをはめてください。また、プロジェクターの破損を防ぐため調整脚を戻してください。



Y T 15 35 10 0 1